

大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2
電話・FAX 029-284-0761
E-mail toukai@oona-mieko.info

傍聴にお出かけください! 9月議会一般質問

村長選後初となる議会で、一般質問を行う議員は 10 人です。9 月 26 日に質問通告が締め切られ、同時に行われた抽選により、10 名の順番が決まりましたのでお知らせします。議員の会派ごとの人数は、新政とうかい 12 名 豊創会 2 名 光風会 2 名 公明党 2 名 会派に所属しない 2 名ですが、一般質問は、議員一人ひとりが村政全般にわたって質することができる権利です。

10/11 (水) 10 時～①岡崎 悟議員 (公明党) ②恵利いつ議員 (光風会)

③村上 孝議員 (豊創会) ④河野健一議員 (新政とうかい)

10/12 (木) ①10 時～阿部功志議員 (豊創会) ②笹島士郎議員 (新政とうかい)

③大名美恵子

10/13 (金) 10 時～①武部慎一議員 (新政とうかい) ②植木伸寿議員 (公明党) ③清宮壽子議員



大名美恵子の質問項目

- ①産業・情報プラザの利活用向上に向けて
- ②子どもの甲状腺検査の結果と今後の検査について
- ③敬老会及び金婚祝賀事業の継続を求めて
- ④消防団活動の現況と活動の充実のための支援について
- ⑤米政策見直しへの村の対応について
- ⑥普通教室へのエアコン設置に関する考え方
- ⑦東海第二原発の運転 20 年延長申請と再稼働に対する考え方について

柏崎刈羽原発審査

住民に逆らう再稼働許さない

田中俊一氏から更田 (ふけた) 豊志氏に委員長が交代した原子力規制委員会が、新潟県の東京電力柏崎刈羽原発 6、7 号機について、規制基準に「適合」との審査書案を公表しました。福島原発事故を起こした東電にとっても、福島原発と同じ沸騰水型の原発についても初めての審査書案です。

規制委の了承、意見募集後に正式決定し、保安規定などの認可や、地元同意が得られれば再稼働する段取りです。福島県民や新潟県民も強く反対しており、米山隆一知事は福島事故の検証が終わるまでは再稼働の議論をするつもりはないと明言しています。再稼働は許されません。

「決意」は安全保証しない

巨大な地震と津波への対策を欠いた福島第 1 原発は、2011 年 3 月の東日本大震災で全電源が喪失、運転中の 1～3 号機で炉心が溶融して原子炉建屋が爆発するなどし、放射能を周辺に飛び散らせました。事故から 6 年半たっても溶け落ちた核燃料の所在さえ正確に確認できず、廃炉や汚染水処理なども予定通り進まず、周辺町村では広い地域で立ち入りが制限されたままです。安倍晋三政権は避難区域の縮小や県外避難者への援助の打ち切りなどを強行しましたが、県内外の避難者はいまだに数万人単位で残されています。

事故の原因究明は途上なのに、事故を起こした当事者の東電に、しかも事故と同じ沸騰水型の原発の再稼働を認めるなど、許されることではありません。原子力規制委は田中前委員長が 9 月 20 日の委員会で、東電に「経済性より安全性を優先する」などと約束させて、東電の運転資格を認めました。しかし福島事故が証明しているように、いったん事故が起きれば取り返しがつかない被害をもたらす原発について、安全性を優先させるなどというのは当たり前の話で、東電が「決意」を表明したからといって安全性が保証されるものではありません。

それどころか柏崎刈羽原発を再稼働させなければ事故を起こした福島原発の廃炉の費用さえ確保できないと公言してはばからない東電や、再稼働を推進する安倍政権などの姿勢は、安全より、もうけ最優先そのものの態度です。